



## SB-41 ショールカーデ



ロング丈  
ストレートデザイン

ショート丈  
ストレートデザイン

ロング丈  
カッティングデザイン

個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

株)きなり パターンショップ Shell button

<http://www.shellbutton.net/>

[info@shellbutton.net](mailto:info@shellbutton.net)

### 出来上がりサイズ・必要用尺

【単位:cm】(用尺は生地幅140cm以上で計算してあります)

	着丈		バスト (注1)	肩幅	袖丈	ロング丈 用尺	ショート丈 用尺
	ロング丈	ショート丈					
S	73	56	43	34	58	1.9m	1.7m
M	74	57	45	35	58.5		
L	75	58	47	36	59		
LL	76	59	49	37	59.5		
3L	77	60	51	38	60		

注1)前身頃はショール部分があるため、バストは後身頃で測定しています。

後身頃のサイズ×2が、バスト適応サイズとお考え下さい。

※ニットは、水通しで若干縮む可能性がありますので、余裕を持ってご用意下さい。

※ニット用の針、ニット用の糸(レジロン)を必ずご使用下さい。

### その他必要な物

■伸び止テープ … 30cm 肩とポケット口用 ※肩はウーリースピンテープでも、共布でも代用可

## 縫い代について

パターンは全て **縫い代込み** になっています。

パターン内にある数字は、縫い代を表します。

その数字分、出来上がり線から縫い代を足してパターンを作成しています。

## 縫い方手順

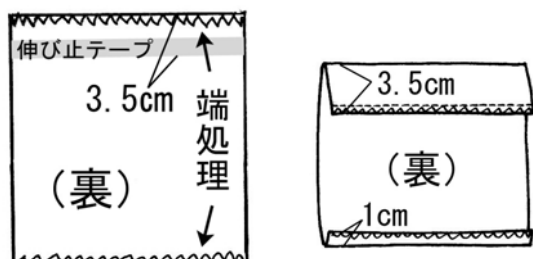
- **ニット用のパターンです。** 伸びない生地は使用できません。
- ロックミシンをご使用の場合は、縫い代をかかり幅に合わせて切り落としながら縫います。
- **普通の本縫いミシンで作成の場合は、その都度ジグザグミシンなどで縫い代を2枚合わせて端処理をしてください。**  
ロックミシンでの縫い方を基本的には書いています。ロックミシンで端処理が必要ない所は説明を省いています。
- レジロンなどのニット用糸とニット用針を使用して下さい。
- **家庭用ミシンで縫うと伸びてしまいますが、霧吹きをしっかりとかけるか、スチームを当ててアイロンで整えると元に戻ります。**

※ 端処理とは、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することを表します。

※ コバステッチとは、表側へ、縫い合わせ端から3mmぐらいまでのところにかける、ステッチのことです。

### 1. ポケットを作ります。

- ① ポケット口と底の部分を端処理します。
- ② ポケット口折返し部分に、伸び止テープを貼ります。
- ③ ポケット口は3.5cmで、ポケット底は1cmで、アイロンで折ります。ポケット口は、ステッチをかけます。



### 2. ポケットを、身頃に縫い付けます。

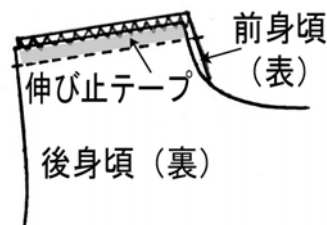


- ① 前身頃のポケット位置にポケットを乗せます。
- ② 底の部分は、コバステッチで固定します。
- ③ 左右は、縫い代内に粗ミシンをかけて仮止めします。  
※縦方向なので、伸びないと思いますが、心配な方はしついで留めて下さい。

### 3. 肩を縫い合わせます。

後ろ肩(裏)に伸び止テープを貼るか、ウーリースピンテープ(共布)を挟み込みながら、前後肩線を中表に合わせて縫い合わせます。

縫い代は、後ろ側へ倒します。



### 4. 衿(ショール)を作ります。

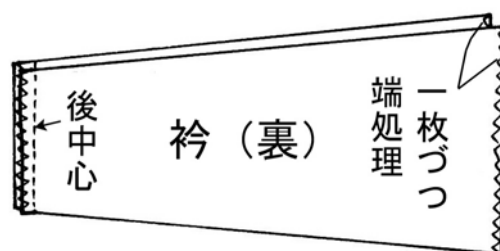
「わ」裁ちしなかった場合

(わ裁ちした場合は、①から行ってください)

1. 2枚の衿を中表に合わせ、後中心を縫い合わせます。
2. 縫い代は右側に倒し、表からコバステッチで押さえます。

#### ① 裾をそれぞれ一枚ずつ端処理します。

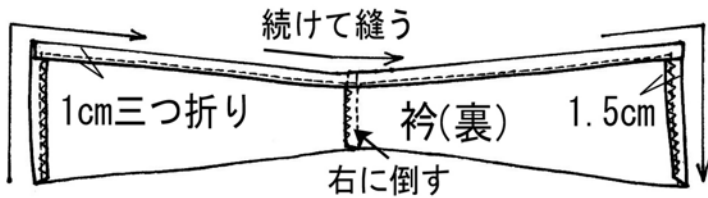
1.5cm 幅で裏側へアイロンで折り返します。



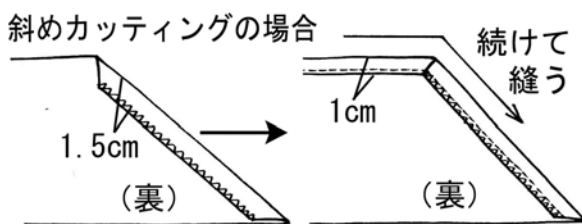
② 衿の外側は 1cm の三つ折りにしてアイロンで折っておきます。

※生地が厚い時やお好みで、端処理して 2cm 幅の二つ折で折り返しても良いです。

③ 裾⇒外側⇒裾と一続きで縫って、押さえます。

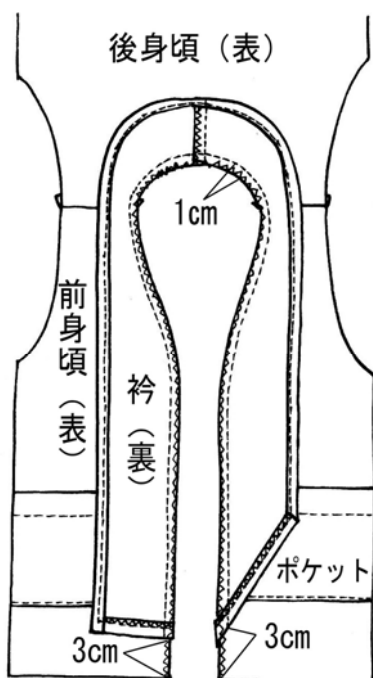


※挿絵は、後中心を縫い合わせた絵になっていますが、それ以外は共通です。



5. 衿を縫い付けます。(ショール 2 デザイン共通)

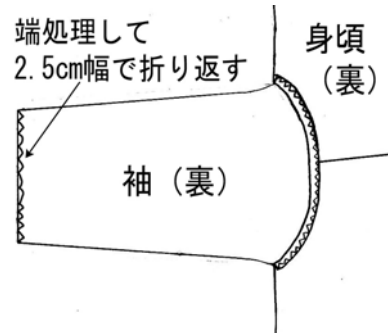
- ① 衿と身頃の後中心を中表で合わせます。
- ② 同じく、中表で両肩線の合印、ポケットの合印をあわせませ裾は、身頃の方が衿よりも 3cm 長くなるように合わせます。  
※斜めカッティングデザインの場合は、端から 1cm 入った所(仕上がり線)より 3cm 身頃が長くなるように合わせます。
- ③ どちらかの裾から、ぐるり一周続けて縫い合わせます。  
縫い代は、身頃側へ倒します。



※裾の下 3cm 部分も続けて縫ってください。ロックミシンをご使用で無い場合は、端処理する際、裾まで行ってください。

6. 袖を縫い付けます。

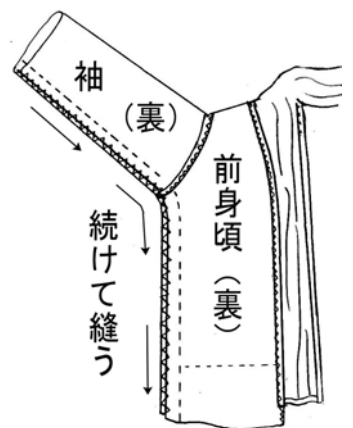
- ① 袖口は端処理して、2.5cm 幅で裏側へ折り返しておきます。
- ② 袖と身頃を中表で合わせます。各合印をあわせて下さい。
- ③ 縫い代は、身頃側へ倒します。



7. 脇を縫い合わせます。

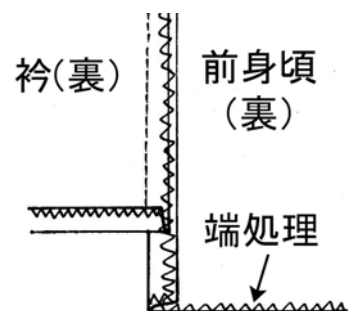
中表に合わせ、各合印をあわせながら袖口側から身頃裾まで一続きに縫います。

※袖の縫い代は、身頃側へ倒してください。

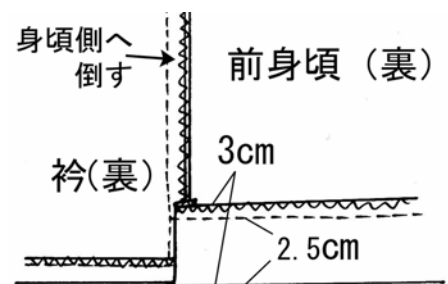


8. 裾と袖口を仕上げます。

- ① 前身頃、後身頃の裾を端処理します。
- ② 裾を 3cm 幅で折上げます。(衿の裾ラインと揃います)  
※衿と身頃を縫い合わせた縫い代は身頃側に倒します。  
※脇の縫い代は、後身頃側へ倒します。
- ③ 裾から 2.5cm の所にステッチをかけ、押さえます。



※ショート丈の場合、ポケットの底位置と裾折上げ位置が近い為、ポケット底を縫ってしまわ



ないよう気をつけて下さい。

- ④ 袖口を先程折っておいた所で折り返し、ミシンで押さえます。全体的に伸びた所はアイロンで整えるなどして、出来上がりです。